



ひよこ組

【11月の保育のねらい】

- ・ 戸外遊びや散歩で秋の自然に触れながら、興味を持って遊ぶ。
- ・ 保育者と手を繋いで一緒に歩いたり、一人歩きをして身体を動かすことを楽しむ。

<大きな葉っぱ見つけたよ～！>

段々と歩行が安定してきて、歩くことを嬉しくなってきたこどもたち。靴を履くことにも慣れ、散歩に出掛ける準備をしていると、「早く行こうよ～！」と自分の靴を大人のところにもってきます。はかせてもらうとこっこり！！箱車に乗って、公園に散歩に出掛けます。

こどもたちは虫や植物、乗り物に興味津々です。歩けるようになってきて、活動範囲が広がり、「あっちへ行ってみたい！」「こっちには何があるんだろう？」と目を輝かせながら公園内の探索をしています。顔の大ききくらいある大きな葉っぱや、どんぐり、石を見つけて「あったー！」と指をさして教えてくれます。

一緒に歩いたり、築山を登ったりして身体を動かしながら、秋の自然に触れ、発見することを楽しみたいと思います。



ちゅうりっぷ組

【11月の保育のねらい】

- ・ やりとりしながらおにごっこを楽しむ。
- ・ 絵本や紙芝居の世界を楽しみ、なりきって遊ぶ。

オオカミさん今なんじ？

最近、「オオカミさん今なんじ？」が人気です。鬼役のオオカミに、「オオカミさん今なんじ？」と聞きます。するとオオカミは「いまは 〇〇の時間だよ」と答えてくれます。このやり取りを何度か繰り返し、最後はオオカミが「夜中の12時」と叫んで、それが合図となってオオカミが追いかけて来ます。子どもたちは、鬼ごっこ前のこのやり取りが大好きで、オオカミになりたがる子が多いです。「いまアイスを食べているところ」「いまお布団で寝ているところ」「お風呂にはいってきれいに体をあらっているところ」などオオカミの時間を楽しくおかしく教えてくれます。鬼ごっこが始まると、捕まらないように逃げるのですが、オオカミ役の子がオオカミになり切りすぎて逃げる子は怖いと泣き出したり、つかまったことが悔しくて泣き出したりと、楽しい中でも悲しいことが起きてしまう3歳児です。一度泣き始めると、遊びに戻る気持ちになかなかならず、ゲームが終わってしまうこともしばしばですが、楽しい気持ち、悔しい気持ち、悲しい気持ちなど遊びの中で、友だちと一緒にたくさんたくさん経験して行ってほしいです。



りす組

【11月の保育のねらい】

- ・ 保育士や友達と手繋ぎで歩くことを繰り返し経験する。
- ・ 秋の自然に触れながら戸外遊びを楽しむ。



さくら組

【11月の保育のねらい】

- ・ ルールのある遊びを友だちと楽しむ。
- ・ 大人や友だちと絵本や紙芝居の世界を再現して遊ぶ。

ルールがあるからおもしろい！

椅子取りゲームや鬼ごっこ、カードゲームなどルールのある遊びをクラス全員や少人数で繰り返し遊んでいく中で、少しずつ楽しさが分かってきました。どの遊びも好きで、「〇〇やろうよ」と大人でなく友だちを誘って遊ぶことが増えてきました。遊びは知っているけれど、ルールをどこまでわかっているかはそれぞれバラバラです。大人と一緒に遊ぶ時はルールを守るけれど、友だち同士で遊ぶと「負けたくない」「捕まりたくない」という思いからズルを試みたりすることも出てきました。ルールのある遊びは、ルールを守って遊ぶから楽しい遊びです。楽しむことも大切ですが、ルールを守って遊ぶことも伝えていきたいと思っています。



うさぎ組

【11月の保育のねらい】

- ・ 固定遊具や追いかっこなど、身体を思い切り動かして遊ぶ。
- ・ 保育者や友達と言葉のやりとりをしたり、発見したことを伝え合う。

<どのくらい食べる？>

散歩に出ることが多くなり、身体を動かすようになったので、食べる量が増えました。8月頃から、おかずを取り分ける際に保育者が「どれくらい食べる？」と聞いています。友達につられて、食べられないのに「いっぱい」といったり、食べられるのに「ちょっと」ということもあります。食べる量を自分で決めることで、決めた量は頑張る全部食べようとする姿も出てきています。また、友達の姿を見て苦手だけど食べてみようとする姿もあり、苦手な物を一口食べられた時には、「たべられたよ！」と、嬉しそうに報告してくれます。

また、最近では、「こう？」と保育者にスプーンやフォークの持ち方を聞くようになってきました。上からぎゅっと握って持つのではなく、身近な大人やお兄さんお姉さんのように鉛筆持ちのようにもちたいという気持ちが出てきたのでしょね。食欲の秋！！座る姿勢や食べこぼしもみながら、モリモリ楽しく食べています。



もみじ組

【11月の保育のねらい】

- ・ 目標に向かって努力したり友だちと協力し、達成感を持ち自信をつける。
- ・ 集団遊びの楽しさが分かり、自分たちでルールをつくり、それを守って遊ぶ。

【今月のイベント】

- ・ 11月12日(金)なわとび大会(タイトル未定)

<保育園で大好きなこと『さんぽ』>

「保育園で散歩に行かなくなったらどう？」と聞いたことがあります。返ってきたのは「やだ、こまる！」でした。「園庭では出来ないことが出来るから、散歩に行きたい」と言うのです。もみじ組らしい答えです。

天気の良い日はほぼ散歩に出かけます。行先の決め方は話し合い。多数決や代表じゃんけんやくじで決めます。時には出た意見全部を捨て、「今日は〇〇公園、明日は××公園」なんてスケジュールを組むこともあります。大切にしているのは、こどもたちが話し合って決めることです。一人一人、好きな公園も遊びも違います。「落合公園でターザンロープをやりたい」「薬師公園の広場でバナナ氷鬼やりたい」といった風に自分の考えを伝えても、友だちから違う意見が出ることもあります。公園を決めるだけでも、友だちの意見に共感を持ったり、自分の気持ちに折り合いをつけたり、社会性を育てる大切な場面です。

こどもたちの一番人気は、遊具が魅力な『西落合公園』や『落合公園』。広場だったら『薬師公園』、『哲学堂公園』の探検や幽霊も人気です。卒園まであと半年。毎日色々な公園へ行って遊び、保育園の楽しい思い出をたくさん作って欲しいと思っています。

